

【導入パート】

①両耳、近距離

- ・眠る棟梁の枕元、膝立ちで見下ろしながら首にクナイを当てがい起こす。
- ・声は抑えめで、起きない棟梁に少しイラついた感じで悪態をつく。

おい…おい…

…こいつ、本当に棟梁なのか？ 刺客が枕元まで迫っているというのに、すやすやと…っ

おい、起きろ！

しっ…動くな、よく聞け。

大声、抵抗、どれも許さん…しようとするれば即喉を搔っ切る。 いいな？ よし。

単刀直入に言う…秘伝忍術の情報を渡せ。

しらばっくれても無駄だ…既に調べはついているぞ、
貴様が夜な夜な、弟子のくノ一相手に秘伝忍術なるものを伝授している事はな。

言っておくが、助けなどは期待するだけ無駄だ。

ここへ来る道中、見張りは愚か獣一匹とて私の存在に気づいてはいない。

・読心術で棟梁がエロい事を考えているのに気づき、余裕の表れと見る

私を只のくノ一だと思って貰っては…って貴様…何を考えている？

私を見るなりいやらしいことを想像したな？

こいつ、この状況が分かっているのか？ それとも、肝が座っているのか…

この余裕…^{できがた}成程、敵方のくノ一くらい既に把握済みという訳か…

フン、誤魔化しても無駄だ不埒者め、私にはわかるのだ…まあいい

隙だらけの間抜けかと思ったが、流石に一介の棟梁らしい。

…いかにも、私の名は鬼灯。^{ほおずき}

我が首領より直々に任を仰せつかり、貴様の隠し持つ秘伝忍術を奪いに参上した。

②両耳、近距離

- ・懲りない棟梁に冷徹かつ気が抜けた感じで殺す発言
- ・その言葉に思わず口を割る棟梁、あまりのあっけなさに一瞬驚き嘘だと疑う鬼灯

さあ、話してもらおうか、さもなくば……………貴様、まだふざけた妄想を…

…もういい殺す。首領からも許可は得ているしな。

何？ 耳…かき…だと？

っ、貴様…私を舐めているのか？

仮にも將軍家の守護を預かる忍者軍団の秘術が、そんなくだらないもののはずがあるか。

第一、棟梁ともあろう者がそんな簡単に口を割るものか、私を欺^{あざむ}こうとしても無駄だ。

かくなる上は、我が忍術をもって暴いてくれる…

それこそが、私が遣わされた理由でもある。

我が忍法、読心術の前には、貴様の考えていることなど手に取るようにわかるのだ。

もともと、貴様の心がふしだらな妄想に満ちている事は初めから見ていたがな。気づいていたか？

馬鹿め、こうして明確に問う以上、口で何をのたまおうが無駄だ、

もはや貴様の心は逃げられんぞ。

両耳、超近距離

- ・目を半開きで、なにやら急じている感じで。
- ・思考が読めず苦戦。実際に何も無いのだが、隠していると信じて疑わない

さあ教えろ…真の秘伝忍術とは何だ？

ん…む…うん？ また耳かきか…何故だ？ 肝心の情報が…読めん…

まさか、本当にくだらない事しか考えていないのか？ いや、違う…

全く手がかりすらも掴めんほど巧妙に隠されている…

まるで初めから存在しないかの様だ…

腐っても棟梁と言う事か…見事なものだ。

③両耳、近距離

・棟梁のスケベを利用する手を思い付き得意げ

面倒な…素直に吐けば楽になれるものを…

さてどうするか…忍の長に拷問など通用するとは思えんし…はっ。

フ、とっさに耳かきだと口走ったのはうかつだったな…

思考を読むに、偶然ではないだろう？ 貴様、かなりの耳かき好きだな？

にじみ出ていたぞ？ ^{よこしま} 邪な願望が…誤魔化しても無駄だ。

なんなら、貴様が考えていたことをそのまま言葉に出してやろうか？

右耳、超近距離囁き声

・心の声の読み上げは淡々と棒読みかつジト目で見下す感じで。

「うっひょ〜 敵国の美人デカ乳くノーに耳穴ほじほじして貰いてえ〜」とか

左耳、超近距離囁き声

「低音の聞いた妖艶な囁きで耳奥ビクビク震わされてえ〜」とか…

両耳、近距離

・心底軽蔑してる感じで

凶星だった様だな。

全く、若いくノーとみれば見境なし…汚らしい変態め…

どうせ棟梁の立場を利して、里のくノーにも手を出しているのだろう…

貴様の様な男には反吐が出るが、これも任務の為…望み通りにしてやろう。

④右耳、超近距離囁き声

・耳の弱さを確かめる囁き攻め、棟梁がビクッと反応して驚く

つまり、こうされるのがいい…と？ ん？ はー…ふう〜♡(5秒)

っ！ 動くなと言ったはずだぞ。

やはり油断したな？ この程度で心の底を見せるとは思えないが、これは使えるな…

左耳、超近距離囁き声

・質問に対する棟梁の心の声を否定しながら耳ふー攻め

では、こちらは？ はー…ふう〜♡(5秒)

フ…私の考えていることがわかるか？

何？ ふう〜♡(3秒) いや、それも違う。 ふう〜♡(3秒)

私の狙いはとっくに分かっているだろう？ はー…ふう〜♡(5秒)

ああ、その通りだ、貴様の耳穴には、今からたっぷりと天国…いや、地獄を見せてやろう。

両耳、超近距離

・本当に何も隠しておらず、思い込みでただ耳かきして貰えると喜ぶ棟梁と、そのことを知らずに強気の鬼灯、その対比に聴き手がニヤつく締め

余裕のつもりだろうが、いつまでそうしてにやけ面でいられるのか見ものだな…

いくら巧妙に隠し、黙秘を図ろうとも、

いずれ貴様の心は隙を見せ、必ず白状する…必ずだ。

【右耳かきパート】

⑤右耳、近距離

- ・膝枕、髪の毛がくすぐったいので少し反応。
- ・早速棟梁の妄想を読み取りあきれ顔

んっ // 貴様、わざと頭をこすりつけているのか？

そんなに私の太ももが魅力的か？

…こいつ、想像とはいえよくこんなふしだらな…

あまり調子に乗らないことだ、今はまだ秘密を探るために貴様を生かしているに過ぎん…

じょうせき

さて、定石通りの耳かきというのも芸がない、

より貴様の心をさらけ出させる為にも、ここはひとつ私の術で…うむ、こうしよう。

貴様が到底口には出せない様な情けない心の声を漏らす度に、
その都度私が読み聞かせてやる。

自分の心の声を聞かされ続けるというのも、拷問としてはなかなか新しい。

せいさつよだつ

ただ生殺与奪を握られているだけでなく、見えない所まで余すことなく見透かされてしまうのだ。

はずかし

これ以上の 辱 めはあるまい？

…随分と嬉しそうじゃないか。

それはそうだな、殺されないと分かった上に、大好きな耳かきまでして貰えるんだからな…

- ・余裕を見せる棟梁に釘をさすように目を細めて冷酷な声で

誰がすぐにほじると言った？

まずは…こうして…

爪の先で、耳の淵をかりかりとなぞりながら…外側をくすぐって…

かり、かり、かりかりかりかり…

フ、早速か…漏れているぞ？ 「うっ…んっ…」 って

⑥右耳、超近距離囁き声

・ア～部分は囁きなしで、鼓膜を震わせる一定の低い声。

時々、奥にこうして… は一…ふう～♡(5秒) 息を当てたり… は一…ふう～♡(5秒)

ア～…ア～ 声で鼓膜を震わせたり…

・ここから囁き声、擬音高速

こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ、こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ…

囁きで、耳奥をくすぐったり…

右耳、近距離

ふむ、この程度ではまだご褒美という訳か…

耳壁に一切手を付けずに、ひたすらに我慢を強要し、苛立ちを募らせる…

右耳、超近距離囁き声

・擬音高速

は一…ふう～♡(5秒) ア～…ア～… こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ

は一…ふう～♡(5秒) ア～…ア～… こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ

ア～…ア～… こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ

ア～…ア～… こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ

は一…ふう～♡(5秒) は一…ふう～♡(5秒)

右耳、近距離

どうした？ 震えているぞ？

そろそろ中に入れて欲しそうだな…では仕方ないな…

⑦右耳、超近距離囁き声

・擬音ゆっくり目

も一っと、じーっくり、ね一っとりと…イライラさせてやらなければ…

かり、かり、かり、かり…つつ～…つつつ～っと…かり、かり、かり、かりかりかり、かりかり、つろ～

はー…ふう～♡(5秒) はー…ふう～♡(5秒) ア～…ア～… ア～…ア～…

右耳、近距離

凄いぞ…もはや喘ぎ声じゃないか…口では出すまいと必死に抑え込んではいるが…

残念、私には全て丸聞こえだ。

右耳、超近距離囁き声

・擬音高速

・心情読み上げは淡々と

こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ

漏らすたびに一つ、また一つと…

ア～… はー…ふう～♡(5秒)

棟梁としての威厳を貶めていく…

こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ

しかも…

ア～… はー…ふう～♡(5秒)

それをあろうことか外部の人間に知られる…こうしてかりかりくすぐられ、可愛がられながら、な。

「敵方くノ一の冷ややか囁きたまんねえ～、おふっゾクゾクっする～」

「あ～、耳穴イライラするう～…早く耳かき棒突っ込んでくれよ～」

「おっ…殺意強めの敵方くノ一に耳奥ねっとりイライラさせられるの、やっべえ…」

どうだ？ 貴様の考えていたことのほんの一例だ、凶星だろう？

フン、もう順応しているのか…変態め…

⑧右耳、近距離

・擬音ゆっくり目、耳を爪できながら心情読み上げ

それならいっそ、さっさと吐いてしまったらどうだ？

そうすれば、望みどおりに気が済むまで、優しく耳かきしてやってもいい。

フン、あくまで隠し通せるつもりか…こんな面倒な任務は初めてだ。

まだまだ、簡単には喜ばせてはやらんぞ…

かり、かり、かり、かりかりかりかりかりかり…ん？

「ぐっ、このケチ女があ〜」 ほう…

かーり、かりかりかりかり… あ〜、あ〜〜

「俺が逆らえないからって調子に乗りやがって」 って？

はー…ふう〜♡(5秒)

「あひっ、耳ふー気持ちいいですう」 …はあ

…貴様恥ずかしくないのか？

内心で悪態をつけばつくほど、恥の上塗りだ。

右耳、超近距離囁き声

・ア〜部分は囁きなし、擬音高速

そのまま、耳穴いじめられながら、精々情けなく吠えているがいい。

はー…ふう〜♡(5秒) ア〜、ア〜ア〜ア〜… はー…ふう〜♡(5秒)

こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ…ア〜

こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ…ア〜〜 ふっ♡(1秒)

聞くに堪えんな、貴様の声は…だが、漏らさず読み上げてやるぞ？

ふっ♡(1秒) 「うひっ」 ふっ♡(1秒) 「んほっ」 ふっ♡(1秒) 「許してっ」

はー…ふう〜♡(5秒) 「早くほじってください〜」 …情けない男… ふっ♡(1秒)

どうやら、私が思っていたよりずっと容易そうだと。

⑨右耳、近距離

- ・浅目耳かき、擬音ゆっくり目。
- ・耳穴の汚さに眉をひそめながらやる感じで

いいだろう。

では、焦らされてイライラした耳穴に、耳かき棒を差し込んでいくぞ？

ん…ん…これは、凄い量の耳垢だ…

身だしなみすら碌に整えられていないとは…

貴様の様なだらしな忍は、我が里ではたちまちに首領の制裁を受けるぞ。

む…ん、耳かきの匙で、少しずつ…掻き出す…

耳垢を掻き出す度に、貴様の心の声が聞こえるぞ…そら、さっさと吐いてしまえ…

- ・擬音を口に出して欲しいという思考を読む
- ・擬音ゆっくり目

何？ かき、かき？ 擬音だと？ 子供か貴様は…ふむ

かき、かき…かき、かき…ん かき、かきかき…かり、かり、かきかき

おっと…急に声が増えたぞ…相変わらずの下劣さだが、フッ…自白も時間の問題だな。

かり、かり、かり、かり…かり、かりかり…かき、かきかき…んー？

「淡々とした囁きが…物みたいに雑に扱われて…おふっ」 …ああその通りだが？

かき、かき、かき、かき…かき、かき、かき、かき、かき、かき…

ほり、ほり、ほり、ほり…こしょ、こしょ、こしょこしょ、こしょこしょ…こちょ、こちょこちょ、こちょ、こちょ

ここか？ 「ああ、そこっそこですう」

気持ちいいか？ 「き、気持ちいい…ですう」

フッ、何だこの様は…流石に失笑ものだ。

先程までいくらかは抵抗していた筈なんだがな…ん？

ああ、奥もやって欲しいのか…

⑩右耳、超近距離囁き声

・浅目高速耳かき、擬音高速

そう言われて、私が素直に聞き入れると思うか？

より残酷に、意地悪く…浅い所を執拗に搔き続ける。

かきかきかきかきかきかきかきかきかき、かきかきかきかきかきかきかきかき

ん、こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ

こちょこちょこちょこちょこちょこちょこちょこちょ、ほりほりほりほりほりほりほりほり

読み上げながらほじほじしてやろう。

「あっあっあっあっ〜…ダメですう、素早いかきかきは、弱いんですう〜」

「おおお…絶妙な力加減で同じとしつこく…ありがとうございますう〜」

「ああっ、そこそこっ、もっとしつこくなぶってください〜」

…何故敬語なんだ。

はー…ふう〜〜♡(7秒)

右耳、近距離

フム、やりすぎて傷がつけば、かえって気付けになってしまうな…難儀な所だ。

そんなに奥に欲しいのか…いいだろう

では、まずは敵情視察と…

右耳、超近距離囁き声

・耳穴を覗き込んで眉をひそめる。その最中再びエロい妄想をする棟梁

ん〜？ うっ、薄汚い耳穴め、奥までびっしりじゃないか…

まるで貴様の邪な頭の様…って、貴様またそんな事を…

私にじっくりと観察されるのが、そんなに気持ちいいのか？

ん〜…あ〜…お〜ん？ されれば何でもいいということか、この変態は。

⑪ 右耳、近距離

・奥耳かき、慎重そうに。擬音ゆっくり目

では、耳かき棒を奥まで突っ込む。

ん、ず…ずずっと…

おい、気色悪い声を出すな。強制的に聞かされる私の身にもなれ。

ん、ん…ほじ、ほじ…む…これは、集中力が、試される…

どうやら、奥は更に敏感らしいな。

動くんじゃない、ぶすりといきたいのか？

それでいい、身動きを封じられたまま、^{はずかし}辱めを受け続けるがいい。

ほじ、ほじ…ん、ほじ、ほじ…がり、がり、がり…ん

本当に情けない男だ…耐えきれずに肩が、ビクッビクッと震えているぞ？

その度に…「おっ」「おっ」って、情けない声が漏れているぞ？

「おっ…おっ…ふっ…んほっ…あっ…やっ…ダメッ…おっ…おっ…んっ…あっ…」

右耳、超近距離囁き声

・奥高速耳かき、擬音高速

はー…ふう〜♡ (5 秒)

^{みみかへ}耳垢をしっかりとほじったおかげで、吐息が耳壁にしっかりと当たるぞ…ひんやり気持ちいいのか？

心の声と言わず、実際に情けない声を漏らしてもいいんだぞ？

ほら はー…ふう〜♡ ふっふっふっ…ふう〜♡ (10 秒)

そ〜ら、奥も…んっ //

ほじほじほじほじほじほじほじほじほじ、ほじほじほじほじほじほじほじほじ…っお //

凄…ビクビクがっ…おい、危ないじゃないか…

ほじほじほじほじほじほじほじほじほじほじほじ、ん…

ほじほじほじほじほじほじほじほじ、ほじほじほじほじほじほじほじほじ

ほりほりほりほりほりほりほりほり、ほりほりほりほりほりほりほりほり

⑫右耳、超近距離囁き声

はー…ふう～♡(5秒)

「敵くノ一の容赦ない耳奥攻め、たまんねえ～」 あーあー、

「オッオッオッ…そこヤバっ、ああっ」 みつともない…

「うううっ手加減してください～」 なんて様だ…ククク…

はー…ふう～♡(5秒)

はー…ふう～♡(5秒)

はー…ふう～♡(5秒)

はー…ふう～♡(5秒)

右耳、近距離

・冷静になり、棟梁に奉仕していただけたと気づき、気合を入れなおす

っ！ 私とした事が…これではただこいつの要望に応えてやっただけではないか…

これまでは、貴様を甘やかすだけであったが…

貴様の心に、隠さず全てを吐かせる為、ここからは手段を選ばん。

まずは貴様の視界を封じる。 ふっ！

私が解くまでその臉が開くことはない、どうだ？

余裕そうだな、だが喜んでいられるのも今の内だ…

視界を封じられては、否が応にも耳に神経を集中せざるを得まい…

刺激に耐えきれずに心が我を失えば、たちまちに秘密を明かすだろう。 では…

右耳、超近距離囁き声

・少し息を荒げて唾垂らし

動くなよ…耳穴をかつぽり広げて…無防備な耳壁全体に届く様に…

んっ…むぐっ、んくむくんぐっ…むちゅくちゅっ…んむんむ…つるれえ～～…ぷふえっ♡(15秒)

おおっ // 凄いこえが…っ // 聞くに堪えん //

私の…ん、唾液を…たっぷりと注いで…

んむっんぐっ…むちゅくちゅっ…んむんむ…つるれえ～～…ぷふえっ♡(15秒)

そこを、綿棒でぐじゅぐじゅとかきまぜてやろう…

⑬右耳、近距離

・綿棒、擬音ゆっくり目

貴様の様な変態にはお似合いの仕置きだろう？

そ〜ら、じゅぷぷっと…

耳壁を擦りながら…溜まった唾液を、じゅぽ、じゅぽと…

ごし、ごし、ごし、ごし…じゅこ、じゅこ、じゅこ、じゅこ…ん

…凄い音だな。

私も、今までいくつも任務をこなしてきたが…こんな事をするのは初めてだ…
そら、もっと聞かせてやろう。

良〜く聞け…

奥までねじ込んで…ぐり、ぐり、ぐりぐり…じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ、じゅぽ…

ぐり、ぐり、ぐりぐり…ぐりぐり、ぐりぐり…じゅぷ、じゅぷ、じゅぷじゅぷ、じゅぽじゅぽ、じゅぽぽっ…

ほらほら、どんどんあふれ出てくるぞ？ ん〜？

「うおっ、効くっ」「やっべ…」「いやらしすぎっ」「あったかくて、おお〜」

何だと思っているんだ？ 軽蔑以外の感情が出てこないぞ。

右耳、超近距離囁き声

・高速綿棒、擬音高速

ほら、このまま素早く…

じゅこじゅこじゅこじゅこじゅこじゅこじゅこじゅこ かきまぜながら…

こしこしこしこしこしこしこしこし 耳壁を擦り倒す…ごしごしごしごしごしごしごし

成程、変態の貴様らしい趣味だな。

ぐりぐりぐりぐりぐりぐりぐりぐりぐり、じゅこじゅこじゅこじゅこじゅこじゅこじゅこじゅこ

「やっべ、高速こしこしめっちゃ効く…」 フン…

「おお〜規則的に繰り返される低音囁きが、響くっ」 気持ち悪い…

「この子ウチの里に来てくれねえかなあ〜」 …は？

⑭右耳、超近距離囁き声

余計なことを考えるな、貴様…喘いでいればいいんだ。

はー…ふう～♡(5秒) そうだ…

はー…ふう～♡(5秒) はー…ふう～♡(5秒) はー…ふう～♡(5秒)

はー…ふう～♡(5秒)

右耳、近距離

やれやれ、これだけ打たれ弱い癖に、一向に秘伝忍術の手がかりを見せんとは…

流石と言うべきか…どうやらまだまだお仕置きが足りない様だな。

だが、確実にその心は隙を見せつつある。 もう一押しだ…

右耳、超近距離囁き声

- ・あ～部分は、かなりマイクに近くで、息がかかるくらい。口を開ける音も入れて
- ・舌を耳穴に出し入れする様なイメージ
- ・棟梁には見えていないので何を入れているかわからない

いくぞ？

あ～～… ジュルっ

ペロッ 全く…「んおおっ」じゃない…

さあ、何を入れられてるんだろうな？

視界を封じられた貴様には、知る由もないが…一つ言えることは

貴様の耳穴が、得体のしれない何かにどんどん蝕まれていると言う事だ…

そら、もっと入れていくぞ？

あ～～…あ～～…あえ～～…んむっ…あ～～、れあ～～～…るあ～～～…あ～～～…んっ //

いいぞ、じたばたしても…今入れられている…あ～

っは // …コレは、どこも傷つけないからな…そら… 出し入れ…

あ～～、れあ～～～… あえ～～…んむっ…あ～～…あ～～…あ～～～…るあ～～～…んっ //

⑮ 右耳、超近距離囁き声

いいぞ…そうやって、あられもない卑猥な妄想を垂れ流し続けろ…

全部受け止めて…やるぞ…そして…

さあ… 教えろ… 貴様の秘密を… 秘伝忍術とは… 何だ？

ほらっ、ホラっ…ほあっ、ほあっ…

どんどん速くなるぞ？ ゼーんぶ漏らしてしまえ…

はー…ふう～～♡ (7 秒)

右耳、近距離

フフ、どうやら…流石の貴様もかなり体力を消耗したようだな…

息が上がっているぞ？ このまま追い打ちをかけたい所だが…

これ以上は無意味だ、痕跡を消すためにも、耳の中をしっかりと乾かす。

この、先端の綿毛を使ってな。

そーら、そーら…こうやって、耳の中をくすぐりながら…

はー…ふう～♡ (5 秒) 息を吹きかければ…

このまま帰ると思ったか？ そんな訳ないだろう。

ああ、どうやらこちら側だけでは足りなかった様だからな。

はー…ふう～♡ (5 秒)

次は、甘やかさないぞ。

はー…ふう～♡ (5 秒)

【左耳かきパート】

⑩左耳、近距離

・先の反省を活かして最初から強気

んっ // 貴様…見えないのを良い事に私の腹にわざと顔を擦り付けているな？

もういい、そのままでいいから、もっともっと声を聞かせろ…

目隠し？ 当然だ、貴様が秘密を吐くまで外さん。

初めから耳に感覚を集中させれば、先の刺激も相まって確実に貴様は堕ちる。

左耳、超近距離囁き声

・意地悪く言葉攻め

…今度は確実に仕留める。 ふっ♡(1秒)

ほーら…耳を爪でかりかりしてやろう…かりかりかり♡

夜中に敵方のくノ一に寝首をかかれておきながら、

潔く自決をするどころか、うわべだけ抵抗するフリをして見せて…

あまつさえみっともなく耳穴を甘やかされて気持ちよく…あ〜かつこ悪い♡

はー…ふう〜♡(5秒)

左耳、近距離

恥ずかしいだろう？ 心を見透かされるのは、ん？

そうだ、もっともっと、恥ずかしがれ♡

左耳、超近距離囁き声

・耳元囁き、擬音高速

こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ、ア〜…ア〜♡

こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ、ア〜〜♡

んっ // 鼻息が…熱い // 我慢できないのか？ 全く…

おーよしよし、好きなだけズリズリしていいからなあ♡

⑪左耳、超近距離囁き声

・擬音高速

かりかりかりかり、かりかりかりかり…かりかりかりかり、かりかりかりかり

いいんだぞ？

全部受け止めてやるから、残さず出し切ってしまえ…いいな？ ア～…ふう～♡(3秒)

ほら、かりかりかりかりかりかりかりかり…

「あ～、耳穴甘やかしながら焦らされるの…好き～」

「もっと、もっとフーフーして、ビクビクさせてください～」

はー…ふう～♡(3秒) あ～…ふう～♡(3秒) ア～…ふう～♡(3秒)

はー…ふっふっふっふっふっふっふっふっ♡(7秒) はー…ふう～♡(5秒)

「敵に無理やり耳穴ふーふーされてビクビクしちゃうの背徳感やっべ…」

って、こちらは端から隠す気もないじゃないか、もういいのか？ 厳格な棟梁のフリは。

あ～かっこ悪～い♡

奥の隅々まで焦らしていくぞ？

こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ♡ ア～…ア～～

こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ♡ ア～…ふう～♡(3秒)

左耳、近距離

きむすめ

「うひっ」とか「やっ」とか…「あんっ」とか…まるで生娘だな、次々に漏れ出しているぞ？

隠そうともせずにズリズリとお腹に顔を擦りつけて、匂いまで…鼻息でバレバレだ。

あ～あ、めっちゃめっちゃかっこ悪～い♡ はー…ふう～♡(5秒)

でも、いいんだぞ？ かっこ悪くても…

今この場には、私しかいない…私が黙っていれば、貴様は好きなだけ情けなく甘えられるんだ。

おさ

いかに本性が軟弱だろうと、手下の前では厳格に振舞わねばならない、長の宿命だな…

⑱左耳、超近距離囁き声

・擬音高速

部外者の私なら、全部残さず受けてめてやるぞ？ さあ、出し切ってしまえ♡

おいおい、何を想像しているんだ？ 心の声に決まっているだろう。

この変態め… はー…ふう～♡ (5秒)

こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ ア～～…

こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ ア～～…

こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ ア～～…

はー…ふっふっふっ、ふう～♡ (10秒)

左耳、近距離

・浅目耳かき、擬音ゆっくり目

さあ、お待ちかねの耳穴だ。耳かき棒、挿し込んでいくぞ？

そーっと…ん ゆっくり、ゆっくり…

もう何も言う事はないぞ？

あとはもう、貴様が全て吐き出すまで、ひたすらに、こうして…ん //

虐め続けるだけだ♡

浅い所から…かき、かき、かき、かき、かき、かき、かき、かき…

全ては、奥を…焦らす為…ん、かり、かり、かりかり、かり、かり…ほりほり、ほり、ほりりっ…

こしょ、こしょ…こしょこしょ、こちょ、こちょ…

こしょこしょ、こちょ、こちょ…ん、ん…かき、かき、かり、かり…

さっきよりもずっと敏感になっているな。 いいぞ、ほら、聞かせろ…

「きつい表情と優しい手つきの乖離、可愛すぎ…たまんね～」

「痛くないぎりぎりの手つきが…気持ちいいです～」

フン、いい気なものだ…

「穴の入口しつこすぎて…頭がおかしくなりそうだ……早く奥まで入れてください～」

①9左耳、近距離

おいおい、そんなものか？ もう少し耐えて見せろ…

はー…ふう～♡(5秒)

ではこのまま、素早くかきかきしていくぞ？

左耳、超近距離囁き声

・浅目高速耳かき、擬音高速

そら…かきかきかきかきかきかきかきかき、かきかきかきかきかきかきかき

かりかりかりかりかりかりかり、かりかりかりかりかりかりかり

何だ？ 話すことはないと言っただろう、容赦はせん…

こしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょこしょ、動くな。

こちょこちょこちょこちょこちょこちょこちょこちょ、ん…すかさず息を吹き込む。

「ああっ、ダメダメダメ…もっとゆっくりしてください～」

はー…ふう～♡(5秒)

「くう、無理矢理ほじられまくったら頭が壊れますう…ううっ」

ああ壊れろ壊れろ、その方がこちらとしてもすんなり事が運びそうだ。

はー…ふう～♡(5秒) はー…ふう～♡(5秒) はー…ふう～♡(5秒)

はー…ふう～♡(7秒)

・耳穴を覗き込みながら

んー…さあ、これで奥まで…かつぼりと見える様になった♡

貴様の一番弱々な耳奥が無防備にさらされているぞ？

しかも、未だ目は塞がれたまま…かつてない刺激が逃げ場なく襲ってくるぞ♡

②0 左耳、近距離

- ・奥耳かき、擬音ゆっくり目
- ・攻めが盛り上がってきて少し楽しそう

そら、奥まで…耳かき棒を…ず、ず、ずず…っと♡

はは…凄い声、うるさいくらいだ…そんなに気持ちいいのか？ 奥♡

だが私は、遠慮なく…ほーら、ほじ、ほじ…がり、がりっ♡

ほじ、ほじ、ほりほり…ほじ、ほじ、ほじ、ほじ、ほじ、ほじ

ほじ、ほじ、ほじ、ほじ…ん、ほじほじ、ほじほじ…

ほり、ほり、ほり、ほり…ん、ん…あっ…ん

ビクッとするな、してやらんぞ？

ほじ、ほじ、ほじほじ、ほじ、ほじ…ほじ、ほじ、ほじ、ほじ

ほり、ほり、ほり、ほり…ほじ、ほじ、ほじほじ…

鼻息がっ、とんでもない熱さだ…貴様、この期に及んでこんな抵抗を…くっ //

どうやら、まだまだお仕置きが必要らしいな…

不可抗力だと？ 言い訳など無用だ、どうせ出し尽くすまでやめる気はないんだからな。

覚悟しろ… はー…ふう～♡ (5秒)

「やっべ…奥の敏感なところほじられながら意地悪されるの、すっげーゾクゾクする～」

はー…ふう～♡ (5秒)

「このままだと…やばい、やばいぞお～…敵国くノーに最後まで絞りとられてしまう～」

はー…ふう～♡ (5秒)

「このまま素早くなんてされたら…はっ!？」

はー…ふう～♡ (5秒)

②左耳、超近距離囁き声

- ・奥高速耳かき、擬音高速
- ・盛り上がってきて5度強め

フ、言われなくてもそうするさ…

ほじほじほじほじほじほじほじほじほじほじほじ、ん…

耳奥の、赤くなってヒクヒクと動いている所を…容赦なくっ

ほじほじほじほじほじほじほじほじ、ほじほじほじほじほじほじほじほじ

ほりほりほりほりほりほりほりほり、ほりほりほりほりほりほりほりほり

何だこれは、脳がやられすぎてもはや雑音だ…

あまりやりすぎても聞こえなくなつては意味がないか…

はっ、やめないで…と来たか。

貴様、本物のされたがりの変態だな…いっそ里中にばらしたらどうだ？

貴様の好きな罵倒が、里中のくノ一達から飛んでくるぞ♡

はー…ふう～♡(5秒)

「おおお～、きくきくきくきくきくきくう～～」

「やばやばやば～、脳みそ壊れ…あああ～～～」

「はあ～…ああ～…」 つ、これ以上は聞くに耐えんな…

はー…ふう～♡(5秒)

はー…ふう～♡(5秒)

はー…ふう～♡(5秒)

はー…ふう～♡(5秒)

左耳、近距離

どうだ？ いかに耳かき好きの貴様でもこれだけされればこたえただろう？

だが、私はまだ欲しい物を得られていないんだ、勝手にくたばるな。

…ふっ♡(1秒) 気付けた、意識は戻ったか？

ん？ 「がっばり空いた耳穴に低音囁き流し込まれてえ～」 だと？

早速か…バカめ、貴様が流し込まれるのは…これだ♡

②左耳、超近距離囁き声

・冷酷な目つきで唾垂らし

ん、動くな…

んっ…むぐっ、んくむくんぐっ…むちゆくちゅっ…んむんむ…っるれえ～～…ぷふえっ♡ (15 秒)

ぷはっ…どうだ、私の唾は？ 遠慮するな、ほら、も～っと流し込んでやろう♡

んむっんぐっ…むちゆくちゅっ…んむんむ…っるれえ～～…ぷふえっ♡ (15 秒)

左耳、近距離

・綿棒、擬音ゆっくり目

はは…凄いな、とても言葉に出来ないような妄想が…んっ // 次々と…んっ //

このまま綿棒を…それっ♡

ごし、ごし、ぐし、ぐし…ごし、ごし、ごし、ごし…

ぐしゅ、ぐしゅ、ぐしゅ、ぐしゅ…ぐり、ぐり、ぐり、ぐり…ん、ぐりぐり、ぐりぐり…ん

それ、それそれそれ…ごしごしと唾液を擦り付けながら、そのまま読み上げてやるぞ♡

「お”っ、生意気な敵くノ一の完全見下し唾垂らし、鬼効くうっ」

「あああっ熱っ、あっつ…くノ一の唾熱すぎて耳奥焼けるう」

「ひぎっ、耳穴唾で洗われて…おお～～」

左耳、超近距離囁き声

・高速綿棒、擬音高速

ほらほら、こっそりと私の匂いを擦り込んでやろう…

もう私以外の女の耳かきでは満足出来ない様になあ。

ごしごしごしごしごしごしごしごし、じゅこじゅこじゅこじゅこじゅこじゅこじゅこじゅこ

ごしごしごしごしごしごしごしごし、ちゅこちゅこちゅこちゅこちゅこちゅこちゅこちゅこ

ん、ん…ぐりぐりぐりぐりぐりぐりぐりぐり、ぐりぐりぐりぐりぐりぐりぐりぐり♡

はー…ふう～♡ (5 秒) はー…ふう～♡ (5 秒) はー…ふう～♡ (5 秒)

②③左耳、近距離

・2行目から独り言っぽく

「あ～このまま低音吐息聞かされながら、舌先でねっとり耳穴ほじられてえ」は？

鈍い奴め…さっき何を入れられたか分かってなかったのか？

気持ちよさでそれどころではなかったか…

何でもない、二度は言わん。

左耳、超近距離囁き声

・あ～部分は、かなりマイクに近くで、息がかかるくらい。口を開ける音も入れて

・舌を耳穴に出し入れする様なイメージ

はー…ふっふっふっふっふっふっふっふっふっ はー…ふう～～♡ (15秒)

ん…たっぷりと耳穴の隅々まで洗った後は…

あえ～～…あ～～…あ～～、あ～あ～あ～あ～…ジュルッ♡

さあ、何だろうな？

たっぷりと出し入れしてやるぞ、耳の感覚に集中しろ…

凄いい…何て卑猥な妄想だ…私の体をそんな風にしたいのか？ いいぞ？

たっぷり楽しめ、考えるのは自由だからな…

変態らしく、せいぜい私に聞かせて勝手に喜んでいるがいい。

あ～～…あ～～…あえ～～…んむっ…あ～～、れあ～～～…るあ～～～…あ～～～…んっ //

あ～～、れあ～～～… あえ～～…んむっ…あ～～…あ～～…あ～～…るあ～～～…んっ //

口を開ける音+あ～あ～吐息何回かセットで

トドメだ…

あ～あ～あ～あ～あ～あ～…んっ // あ～あ～あ～あ～あ～あ～…んぐっ //

あ～あ～あ～あ～あ～あ～あ～あ～あ～あ～あ～…

はー…ふう～～♡ (7秒) はー…ふう～～♡ (5秒)

②④左耳、近距離

・聴き手が寝ている想定なので声を穏やかに

さて、最後に梵天で乾かして…と

これだけやれば、もはや私の命令には絶対服従…この里の命運も尽きたな…

もう返事をする気力も残っていないのか？

仕方ない、せめて最後くらいは優しく撫でてやろう…

はー…ふう～～♡(7秒)

さあどうだ？ じっくりと秘密を聞かせてもらって…

…馬鹿な、こいつ…眠っているのか？

完全な脱力と安心…つ、ついに最後まで秘伝忍術の手がかりすら掴めなかった…

つまさか、本当に耳かきがそうだというのか…私は、まんまとしてやられて…くっ

いや、ここでこいつにとどめを刺してもなんだか負けた気がして気分が悪い…

つかみどころのない男だ…よもや、本当にとてつもない実力者なのか？

この勝負、預ける…

次は必ず、その正体を暴いてやる…くっ、じゃあな //

【その他】

②5 右耳、超近距離囁き声

・Youtube 用 OP、不満げに
んっ、サークルでぶり…

両耳、近距離

・Youtube 用 ED

どうした？ あまりの羞恥心に耐えられなくなったか？

今更何を恥じらうことがある…この変態棟梁め…

右耳、近距離

耳かき中の自然な息遣い (60 秒)

右耳、超近距離囁き声

口を開ける音＋あ～吐息 (10 秒×6 回) (要説明)